

平成28年度

# 予算と 主な事業

みなさまの生活に欠かせないライフラインである水道、下水道、ガスを安全に安定してお使いいただくための平成28年度予算が決まりましたのでお知らせします。

今年度も、さらなる経営の効率化を目指してまいります。

他にも、こんな事業に取り組んでいます

- 故障や事故に備えて24時間いつでも対応できる出動体制を確立しています。
- 高齢者のお宅を訪問し、水道・下水道・ガス設備等の安全点検を実施します。(6～1月頃予定)

## ※1 「収入」と「支出」の差(純利益)はどのように使われるの?

公営企業の利益は、一般企業のように株主や社員への配当はなく、すべてが施設整備や企業債元金を返済する資金として使われます。事業を健全に発展させるために適正な利益を確保することが重要になります。

## ※2 不足額はどのようにするの?

資本的収支の不足額は、損益収支の利益や減価償却費などによって補てんされます。

## ※3 「減価償却費」「長期前受金戻入」って何?

施設や設備は時間経過とともに、その価値が減少していきます。この価値の減少分を「減価償却費」として費用計上します。なお、現金の支出はありません。

そのため、この分は現金として残ります。これを「内部留保資金」と言い、資本的収支の不足額を補てんする財源になります。

また、施設や設備などの減価償却する資産の取得に対して交付された国からの補助金などは「長期前受金」として、減価償却に合わせて収益として計上します。これを「長期前受金戻入」と言い、公営企業独特の会計手法です。なお、現金の収入はありません。

水道



104億75百万円(対前年比1.2%増)

### 【安全で安定した水の供給】

- 4つの浄水場の水を相互に融通できる浄水場連絡管を整備しています。
- 志賀、藤尾地区等の水道を整備してまいります。

### 【浄水場等の施設更新】

- 老朽化した施設を計画的に更新し安定給水と効率化を図ってまいります。

### 【耐震対策・危機管理対策の充実】

- 耐震・漏水防止対策として、老朽管や鉛管の取り替えを計画的に進めます。
- 配水管などの耐震化を進めます。

下水道



166億25百万円(対前年比3.5%減)

### 【生活環境の改善・琵琶湖の水質保全】

- 整備困難地等、未整備地域への下水道整備に計画的に取り組めます。

### 【浸水の防除】

- 大雨による浸水被害を防ぐために雨水渠(雨水を流す水路)整備を計画的に進めます。

### 【改築更新事業の推進】

- 老朽化した施設の長寿命化対策として、改築更新工事を実施します。

### 【地震対策】

- 施設の耐震化を図るとともに災害時に広域避難場所でもンホールトイレが設置できるよう管渠の整備を進めます。
- 防災拠点・広域避難場所下流の管渠の耐震化を進めます。
- 緊急輸送路(主要地方道大津草津線)下の管渠の耐震化を進めます。

都市ガス



162億23百万円(対前年比32.1%減)

### 【ガス導管の整備と改良】

- 都市ガス普及と安定供給に向けてガス導管の整備を進めます。
- 耐震性に優れ腐食しにくいガス導管への布設替えを計画的に進めます。

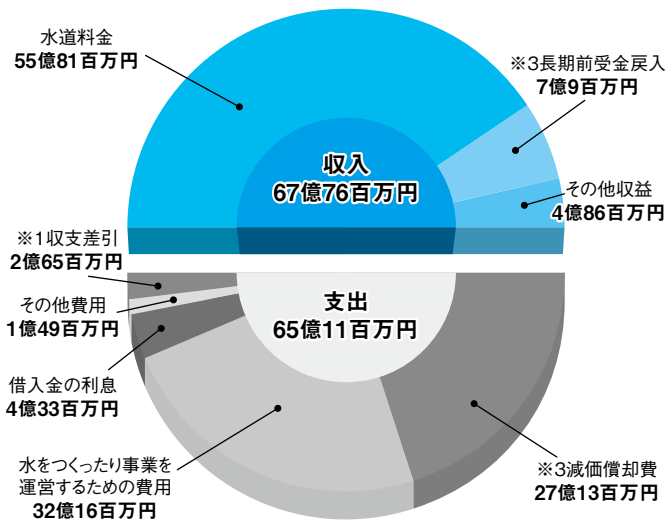
### 【お客さまの保安対策】

- ガス設備の安全点検を行います。

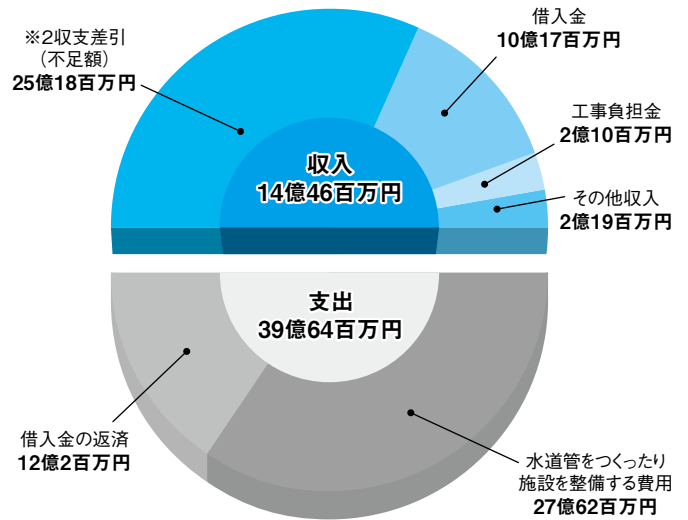
### 【需要開発】

- ガスの普及促進に取り組めます。

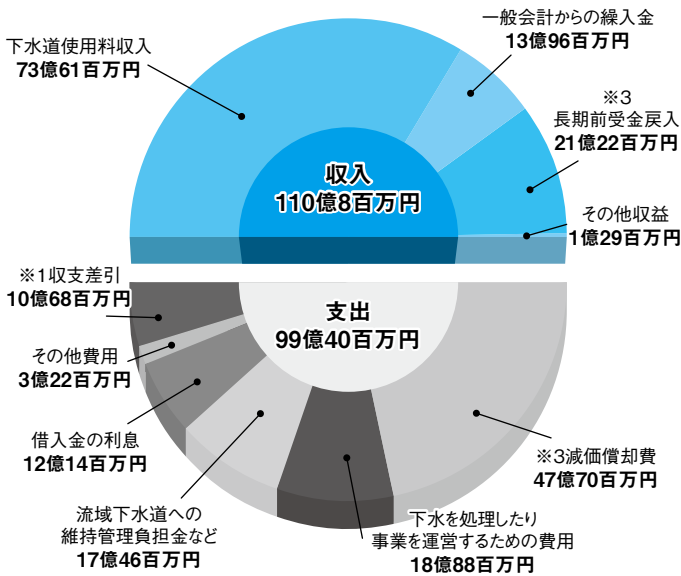
**収益的収支 (水道水をお届けするための予算) [税込]**



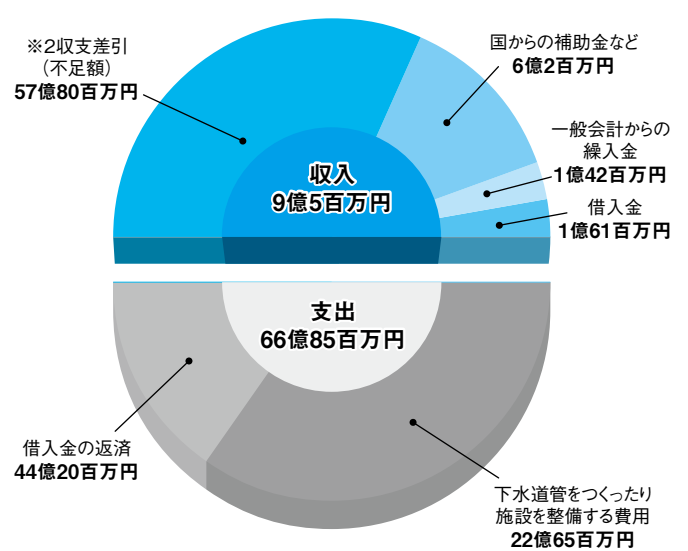
**資本的収支 (施設をつくるための予算) [税込]**



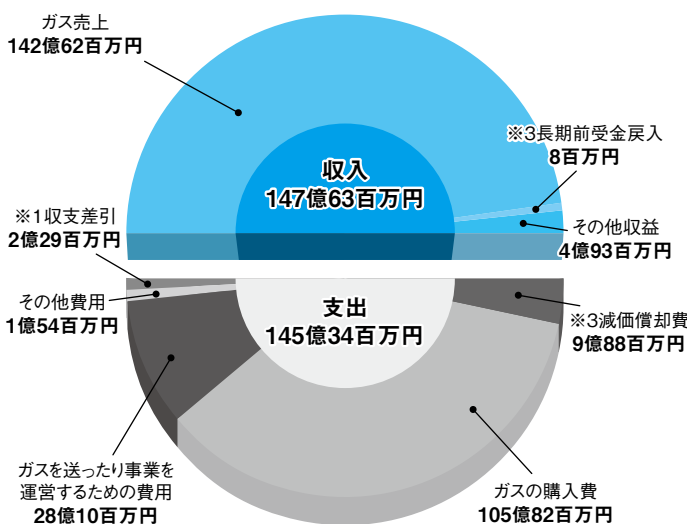
**収益的収支 (下水を処理するための予算) [税込]**



**資本的収支 (施設をつくるための予算) [税込]**



**収益的収支 (ガスをお届けするための予算) [税込]**



**資本的収支 (施設をつくるための予算) [税込]**

